

あっという間に年末を迎えました。2学期は、運動会に始まり、園外保育、地域との交流活動、創立記念行事の挙行並びに記念誌の刊行等、目まぐるしい毎日をお過ごしました。今回の園便りでは、10月末～今週末までの活動をいくつか紹介します。

## 恒例の福祉祭りにも、何とか参加できました

今年も地域の高齢者の方々に子どもたちの「元気」を届けたいと思って練習に取り組んでいきました。当日は、年少組の出席者は5人だったため、多くの人々の前で踊るとなると、楽しさよりも緊張や不安の方が大きくなるのではと考慮し、年長・年中児のみ披露しました。（実は年中組も8人の参加でしたが、よく頑張りました。）子どもたちは、会場からたくさんの拍手をもらい、人のために役立つ喜びを感じたことと思います。子どもたちは、満足した表情で園に戻りました。小学校幼～幼稚園の行き来の際、引率をしてくださった保護者の皆様、お世話になりました。



## どんぐりがいっぱいとれたよ



秋の自然とのふれあいを求めて、立田山に出掛けました。年少児にとっては、初めての山中散策です。どんぐり・クヌギ・木の葉・クモの巣・鳥の鳴き声に出会うたびに立ち止り、しゃがんだり木々を見上げたりしていました。展望所では、弁当開きをしながら、年中・年長組を待っていました。年少児よりも長い道のりを登ってきた年長・年中でしたが、疲れた様子もなくおにぎりをおいしそうに頬張っていました。帰りは年少児の手を取り、一緒に下山しました。

## 一新幼稚園、100歳の誕生日おめでとう！

「幼稚園の誕生日には、みんなで集まろう」「みんなで歌を歌ってあげよう」と話した子どもたちは、11月に入るとお祝いの歌や和太鼓の練習、園内の飾り付けにとりかかりました。年長児は、竹太鼓を加えての祝い太鼓に挑戦しました。年中・年少児は、自分のクラスの歌とともに隣のクラスの歌も覚えるほど、歌うことを楽しんでいました。また、花を植えたり掃除をしたりして、お客様を迎える準備を整えていきました。式典後の風船とぼしも、大成功！空高く飛んでいきました。当日参列してくださった来賓の皆様からは、「子どもたちの歌や太鼓がすばらしかった」とのお言葉をいただきました。保護者の皆様には、式典、風船とぼし、そして祝賀会とご協力いただきまして、本当にありがとうございました。100年間続いた幼稚園教育を受け継ぎ、子ども一人一人のよりよい育ちのために、職員一同頑張らなければと心新たにしました。



式典で、学年ごとに、お祝いの出しものを披露しました。

## ヤマト運輸による交通教室がありました

ヤマト運輸の方々が、ボランティアで行っておられる交通教室に参加しました。リズム室で交通安全のDVDを視聴した後、園庭では、運転席に座って車前方の見えない部分（死角）を自分の目で確かめたあと、模擬の横断歩道を渡る練習をしました。

事後の反省では、各年齢に応じた指導の方法を検討する必要があるとの意見が出ました。交通指導や避難訓練は、自分で命を守るための行動を身につける大事な体験活動です。もっと、綿密な打ち合わせが必要だったことを反省しました。





## 劇団杉の子による人形劇、面白かったね！

今年は、「大きなかぶ」「3枚のおふだ」を見ました。団員二人で人形を扱い、シーンごとに舞台を変化させる技はさすがで、子どもたちは、どんどん「おはなしの世界」へと引き込まれていきました。「大きなかぶ」は、繰り返しの言葉によって、リズムカルな場面展開を楽しみました。「3枚のおふだ」は、やまんばが登場し、小坊主がやまんばに追われるシーンが続く間、ハラハラドキドキのスリル感を味わう内容でした。やまんばは、退治されておはなしは終わったのですが、終了後、子どもたちを見送りに再登場したやまんばに、泣きだす子どももいました。



## もちを食べて、来年も元気に遊ぼうね

マザーズティーチャーと、つき手を引き受けてくださったお父様方と一緒に年末の行事を楽しみました。「何故、もちつきをするの?」と尋ねると、「もち米を洗ったから」との答えが返ってきました。前日、年長児がもち米を洗う姿を見ての発言でした。「お正月を迎えるために日本では昔から行われてきたこと」「お正月を過ぎたら、一つ年をとるでしょう、新しい年も元気な体で頑張れるようにおもちをついて食べましょう」等の話をしました。

もちをつく前に、蒸しあがったおこわを食べて、もちつきの準備完了!もちを「つく」「丸める」「食べる」の一連の体験の中で、もちのべたべた感やふわふわ感、温かさに気付く言葉が、いくつも聞かれました。

3歳児は、よほど気に入ったようで、「おうちでももちつきをして」とお母さんに頼んだお子さんもいたようです。



## マミクワコンサート、今年も楽しかったね！

2度目のコンサートをみんなで楽しみました。「パンパカパンパンパーン」の合唱から始まり、クリスマスソングやちびまるこちゃんの歌等、子どもたちにとってなじみのある曲が次々と演奏され、みんな歌や演奏に聞き入ったり、一緒に歌ったりしました。また、自分のお母さんが登場すると、周りの友達や先生に、「うちのママよ」と嬉しそうに伝える姿もありました。毎回、美しい歌声や音色を聴いているうちに、子どもたちは穏やかでやさしい表情になっていきます。美しいものに触れた感動によって感性を豊かにしてもらっています。3学期のひなまつりコンサートも楽しみです。



## 「ぴかぴかの日」遊びにつかったものをきれいにみがきました。

1学期と同様、今学期も、自分たちが遊びに使ったものをきれいに磨きました。ふじ組は、ぞう倉庫ときりん倉庫ののりものや体育遊具、もも組は、かに倉庫のままごと用具、たんぼぼ組は、砂場の道具と、3クラスで分担して洗ったり汚れをふき取ったりしました。「雑巾がこんなに汚れたよ」と見せ合ったり、「ここも汚いよ」と教えたりしながら、掃除を進めていきました。全ての遊具がぴかぴかになり、幼稚園もお正月を迎える準備ができました。



玉入れかごも、お世話になりました。

保育参観・学級懇談・全体会に出席していただき、お励ましの言葉やご意見をいただきましてありがとうございました。

明日から冬休みです。子どもたちにとって、年末年始ならではの体験が待っています。冬休み中も、病気やけがに気を付けてお過ごしください。では、よいお年をお迎えください。